

管理所レビュー VOL.01

(R4.4.21 水源林管理所)

令和4年度の第1回ボランティア活動が、4月9日(土)に予定どおり実施されました。

当日は活動に先駆けて、道志水源林ボランティアの会の村居理事長と小川水源林管理所長、水道局の組織編制により新たに担当課となった鳥山広報課長からのあいさつを受け、久しぶりの活動再開となりました。

今年度も、昨年度同様に新型コロナウイルスの影響から、活動回数を13回に縮小した形で活動を実施します。引き続きマスク着用や手指消毒などの感染拡大防止対策にご協力をお願いします。

また、久しぶりの間伐作業となりますので、体調を万全に整え、基本的に忠実に安全第一を心掛けた作業をよろしくお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振り返りなどをお知らせします。

1 活動当日の様子



村居理事長のあいさつ。



小川水源林管理所長のあいさつ。



鳥山広報課長のあいさつ。



39名の参加者。



気を付けて行ってらっしゃ〜い。



始まりの会で体調確認を！



キレイな受け口ができました。



切り込み具合の確認を！



ロープを引く時は伐倒木を注視。



安全のため玉切り作業も山側から。

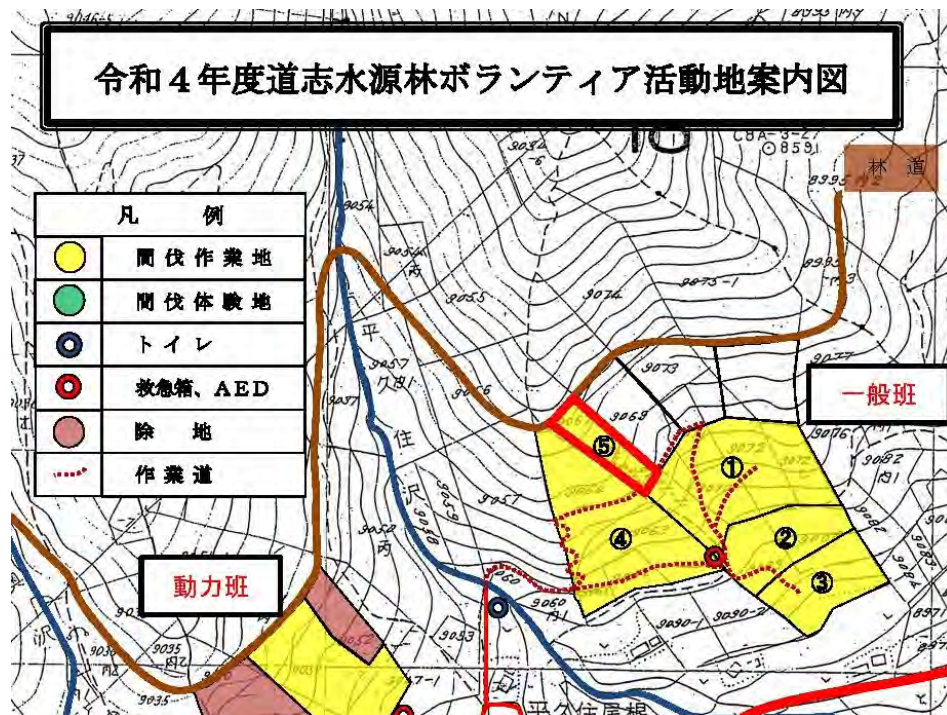


斜面での作業は体勢を崩さないようしっかりと足場を固めて！



2 間伐作業地を追加します。

次回4月22日(金)の活動は、動力班の活動を行わず、一般班を1班増やしての活動となるため、間伐作業地⑤班を追加しました。インストラクターの方はあらかじめ、下記の案内図により場所の確認をお願いします。



3 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいる株式会社サカエテック様が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするためのこの活動が、今後ますます広がることを期待します。
ボランティアの会の皆さん、ご指導ありがとうございました。



株式会社サカエテック様。
(掲載許可済み)

4 木回し用のてこ棒を作成しました！

会からの要望により、木回し用のてこ棒を各班2本ずつ作成し今回の作業から使用しています。ヒノキ製なのである程度の強度はありますが、折れる可能性も十分にあります。使用中に折れると思わぬ事故となる場合がありますので、使用の際は十分な注意をお願いします。



1m50cm と 1m10cm のてこ棒



班の道具の1つとして作業地に持って行ってください。

※ 交通量が増加しています。道路横断の際は、決められた場所でまとまって横断してください。

※ 次回、4月22日(金)は、雨のち晴れ、最高気温23度、朝方までは雨が残りませんが、日中は晴れの予報となっています。

★それでは次回4月22日、気をつけてお越しください。